



2025年度年末手当満額を勝ち取ろう！ シリーズ④

## 満額回答強く迫る！

### 2025年度年末手当第2回団交

本部は本日、2025年度年末手当第2回団交を開催しました。

本部は「今年度の第2四半期は、昨年度同期比を大きく上回り、過去最高となつた。特に、万博輸送をはじめインバウンド需要は好調であった。これは、社員が不眠不休で安全・安定輸送を担つた上、旅行に不慣れの乗客対応で、社員は相当な苦労を強いられた。物価は上昇し続け、家計を圧迫している。今春闘においても、ベアは超低額であり、実質所得は低下している。JR東海の入件費は特に低い。一方で役員は多額の報酬を得ている。会社は、内閣府の月例経済報告を引用し、世界経済の不透明さを強調した。これは、回答を低額に抑えるための口実だ。苦労した社員に報いるために、3・5ヶ月分、プラス15万円（万博手当5万円を含む）更に専任社員はプラス10万円（万博手当5万円を含む）を要求通り満額回答せよ」と、迫りました。

会社は「社員の苦労は承知している。長期的見通し、経済状況、賃金水準、世間相場を総合的に判断して決定する。コロナ禍の赤字の時でも、本来期末手当を出さなくても良いのに2・2ヶ月出した」と否定的な発言を繰り返し、対立しました。

また、本部は「リニア建設費が11兆円になったことを口実に、年末手当の支給の要素に入るな」と強く念押ししました。会社に「リニアと年末手当は全く関係ない」との回答を引き出しました。

次回の団交は、11月12日で回答が示されます。

会社「リニア建設費は年末手当と関係ない」